

## 【コーラスハルミオン創立21周年記念再会練習会】

2021年5月30日（日）に「けやきホール」（東京都渋谷区）でハルミオンの創立21周年を記念する特別練習会を実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、前年3月から月例練習の休止が余儀なくされる中、1年3か月ぶりに行われた練習でしたが、実現にまでに紆余曲折しました。

音楽ホールでの練習会を実施するきっかけになったのは、2020年5月31日（日）に開催予定だった「コーラスハルミオン創立20周年記念コンサート」が新型コロナウイルスの感染拡大により中止されたことでした。お客様を入れずに開催することや、日帰り合宿に活用するなどの代替案も検討されましたが、緊急事態宣言の発出でそれも叶いませんでした。しかし、20周年を迎えて進化したハルミオンの演奏を多くの方にお聴きいただきたいというメンバーの「想い」は強く、翌2021年5月30日（日）に同じホールで「創立21周年記念コンサート」としてリベンジすることにしました。

ところが、コロナ禍はその後も収束せず、練習が再開できないうえ、コンサート開催予定日が3度目の緊急事態宣言期間と重なり、ホールが休館する事態になってしまいました。再びコンサートの開催を断念せざるを得ませんでした。しかし、今回は自己責任でのホール使用は認めるということでしたので、これが幸いしました。せっかく確保したホールを有効に活用する方法はないか・・・模索する中で団員アンケートを実施し、その結果を踏まえて実現したのがこの「創立21周年記念再会練習会」でした。合わせて、新たなメンバー編成で練習を重ねていた「Pure Voices」の成果発表会を開くことも決まりました。



【客席で感染対策を施して練習に励む団員たち】



【ステージ上で指導される晴美先生と小野瀬先生（右端）】

練習会には、団員20人と指揮・指導の小野瀬照夫先生、ピアノ伴奏の高橋晴美先生、ベースとドラムス・パーカッション担当のミュージシャン・八木秀樹さんが参加されました。望月裕央先生は小野瀬先生と5曲ずつ分担してご指導くださることになっていましたが、前日にお母様が急逝され参加を取り止められたため、急遽、小野瀬先生が練習予定の全10曲をご指導くださるというハプニングもありました。また、コンサートの都度、音響を担当してくださっている堀内直治さんが今回も機材持ち込みで駆け付けられ、練習会と成果発表会の一部始終を収録してくださいました。



【小野瀬先生の指導で柔軟体操】



【「Pure Voices」の成果発表会】



【誕生日の置物を披露する晴美先生】

冒頭、急逝された望月先生のお母様に「祝福のうた」を捧げ、哀悼の意を表しました。柔軟体操と発声練習で身体と声帯をほぐした後、最初の曲「窓をあけてみたら」の練習に入りました。団員たちは開始直後、久しぶりの練習に緊張の面持ちで声を出していましたが、小野瀬先生のユーモアを交えた細やかで的確なご指導と、晴美先生の華麗で力強いピアノ伴奏や、八木さんのドラムス・パーカッションのリズムにリードされ、徐々に本来の感覚を取り戻していきました。そして合唱の心地良さに感動し、充実した楽しい時間を過ごせたことに感謝しながら「Cantare～歌よ大地に響け～」を最後に、6時間余に及んだ練習会を終えました。練習の合間に、晴美先生の誕生日（5月19日）を祝って、合唱団から「Happy Birthday」の歌に乗せて幸福の象徴と言われる「青い鳥」のガラス製置物が贈られました。また、新メンバー2人が加わった新生「Pure Voices」の成果発表会がリレミオンの団員をお客様に迎えて行われました。メンバーの年代が若返ってこじんまり感はありましたが、新しいメンバー編成になって日が浅いにもかかわらず、しっかりとしたハーモニーを響かせていました。成長が期待されます。

この練習会は、緊急事態宣言の発出期間中ということもあり、徹底した感染防止策が施された中で進行了。定番の検温、手指のアルコール消毒はもとより、午前中から予定していた練習を午後のスタートに変更して、食事や長時間滞在による感染の防止に努めました。また、団員は三密を避けて客席に間隔を空けて陣取り、マスクの上から「歌えるフェイスシールド」を着用して歌いました。一方、小野瀬先生、晴美先生、八木さんには、ステージ上からご指導いただきました。更に、会館が貸し切りの状態だったため、運営サイドのご協力を得てホール前方と後方の扉を常時開放して歌うことができました。これにより、予定していた30分ごとに扉を開放して換気する作業がなくなり、練習が効率的に進行了。

今回、コロナ禍という特殊事情があったにせよ2度もコンサートを中止せざるを得ず、心待ちにしてくださっていたお客様には多大なご迷惑をおかけしてしまいました。申し訳ないという気持ちでいっぱいです。一方、ハルミオンは、災いを福に転じる練習会が実施できたことにより、心が高鳴る思いをさせていただきました。この成果は、次のコンサートで必ずお客様に還元させていただきたいと思っています。既に、一年後の5月29日(日)に同じ「けやきホール」が確保されています。来年こそ、20歳の成人を迎えたハルミオンの演奏をお聴きいただけものると信じ、コロナ情勢が改善され次第コンサートに向けて練習を再開する計画です。引き続きよろしくお願い致します。

コーラスハルミオン広報 堀江 熙 記